



広報 なかわだ

第439号

2016年12月4日

2016年12月

中和田カトリック教会
広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel. (045) 803-6141

<http://nakawada-catholic.com>

Merry Christmas and a Happy New Year

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

教会は聖書を通してキリストの降誕、受難、死去、復活を信じています。

日本にはキリスト教が伝えられて約500年が過ぎましたが、カトリック教会の信者数はまだ、40万から45万人を上下しています。

神道79.2%、仏教66.8%。キリスト教1.5%とインターネットに示されています。少数派の感がします。しかし、クリスマス・ケーキ、バレンタインのチョコレート、万聖節のかぼちゃ等、宗教色はなく商戦によって、毎年はなばなく行われるようになりました。

クリスマス・サンタクロース聖ニコラス司教。

チョコレート・聖バレンタイン。

かぼちゃ・十一月の死者のために祈る月。

キリスト教の国にはない行事が商業ベースの先行のもとに行われている感じがします。

仏教が日本に伝えられ、神道に加わり、神秘的な神道に仏塔、仏像を通して釈尊の教えを信じた宗教にも行事の中に似たところがあります。七五三のお祝いを教会で行い、お宮参りに行く姿も普通になりました。



1881年にトーマス・ナストによって描かれたサンタクロース。ナストはクレメント・クラーク・ムーアの詩と共に、現代に通じるサンタクロースのイメージを生み出した。



教会ごよみ (十二月)

日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
4	日	主日ミサ (9:00)	待降節第2主日 (岡野神父様司式)	講話 / ゆるしの秘跡
7	水			神父様ご帰国
8	木	祭日ミサ (9:30)	無原罪の聖マリア [祭]	
9	金	週日ミサ (9:30)		
11	日	主日ミサ (9:00)	待降節第3主日	教会委員会
14	水			聖書の会 (10:00)
16	金	週日ミサ (9:30)		
18	日	主日ミサ (9:00)	待降節第4主日	大掃除
21	水			聖書の会 (10:00)
23	金	週日ミサ (9:30)		
24	土	祭日ミサ (19:00)	主の降誕 [祭] 一夜半ミサ	
25	日	主日ミサ (9:00)	主の降誕 [祭] 一昼間ミサ	茶話会
30	金	祝日ミサ (9:30)	聖家族 [祝]	
1/1	日	祭日ミサ (10:00)	神の母聖マリア [祭]	

～ 中和田の風 ～

「29年ぶりの再会の喜び」

～教育に携わって～



残暑の中の秋のことです。応接間の電話のベルが鳴りました。

「先生、僕だよ。分かる？」

と、電話の受話器の奥から青年の声が耳に届きます。名前を聞いてから、すぐに思い出しました。目に浮かんだのは、彼が小学4年生時代の顔でした。それから彼は、当時から今迄の出来事や家族の様子などを次々とほとぼしる溪流のように話しだしました。近いうちに会う約束をして、電話を切りました。

彼の名をA君としますが、A君は、私がある小学校の教諭として勤めていた時の教え子です。彼とはたった1年間のふれあいでしたが、印象の深いお子さんの一人でした。当時私は、特別支援学級の担任でした。一人で3人の児童を担任していましたが、A君は4年生の普通学級に在籍していました。ところが、A君は授業中に教室から出てしまい、校庭や時には学校外にまで行ってしまいうのです。理由は彼が学習遅進児で授業に興味を持てないこと、我慢して席に座ってられない性格だったことなどです。日常会話はできるので低学年までは教室にいたようですが、4年生になってからは限界だったようです。お友達関係もうまくゆかず、クラスで孤立している状態でした。先生からも友達からも、いたずらばかりする子どもとして見られるようになってしまい、目つきも鋭くすさんだ表情をしていました。彼の担任との話し合いで、午前中3時間目迄は私の特別支援学級で過ごすようになりました。しばらくしてから、先生方に表情が穏やかになったといわれるようになりました。居場所が出来たということでしょうか。

約束の日に指定された場所で待っていると、やや太った体に丸い顔の彼が現れました。

「先生、老けたね。」

と言いながら、笑顔で挨拶です。それもその筈、29年ぶりの再会ですからね。ランチを頂きながら、お互いのよもやま話をしました。彼は、小学校5,6年生の時や中学に行っても、学校不適應状態が続き、友達や時には先生からもいじめられたと話していました。

中学を卒業してからは、職業訓練所に行ったりして、現在、ある工場で18年働いているそうです。彼の手を見ると、爪が深く切っており、指も頑丈そうで真面目に働いていることを如実に表しています。同じ職場で18年も勤続して立派に生計を得て居ることが自信となり、明るく輝いた顔の表情に表れています。私は、いじめられていたことが辛かっただろうと慰め、それを克服して今の職場で頑張っていることをほめてあげました。

その日の再会はずれしかなかったのですが、彼のような子どもは疎外されやすく、辛かっただろうなと思いました。普通学級と特別支援学級のすきまに位置するような立場のいわゆる境界線の児童は、居場所が見つからないのです。学校行政も色々工夫して配慮しているのですが、予算の問題や学校組織上の問題があり、うまくいかないこともあります。

今、学校では色々な問題が山積しています。不登校、いじめの問題、親からの虐待など、私の子ども時代と内容が変わっています。子どもは昔と変わらない成長をしている筈ですが、子どもを取り巻く親や地域や社会の環境が変わってしまいました。少子化、核家族化や急速に進んでいく科学技術等です。私達の生活は便利に快適になっていますが、子どもの成長にとってはふさわしくないとされるものもありますね。私達大人が、子どもの健全な成長を阻害するものはキッパリと取り除いてあげ、困っている子ども達には手をさしのべる必要があると思います。

この何よりうれしいA君との再会をもたらせてくださった、神に感謝します！

(武田 幸子)



七五三祝福・三教会合同ミサ

11月6日、武田美鈴さん（7歳）、マナリリ麻衣リンさん（7歳）、マナリリ麻矢さん（3歳）が七五三の祝福をいただきました。元気で健やかに成長されますように！！



秋晴れのお恵みをいただいた11月13日、「3教会（戸塚／原宿／中和田）+ FMM戸塚修道院（原宿）」の合同ミサが、野外ミサの形で捧げられました。

3教会からはたくさん子どもたちが参加して、主司式司祭を務められた日野武満神父様による”紙芝居説教「善きサマリア人」を熱心に聴き入っていました。そして、子どもたちは司祭団の神父様方から一人ずつ祝福を頂き、さらにお祝いの記念状、おメダイ、千歳飴も頂いて、楽しいひと時を過ごしました。



このミサが素晴らしい思い出として、子どもたちの心に深く刻まれますように。

（典礼 小野）



第25回湘南キリスト教セミナー～当事者が語るひきこもり～

今年は「当事者が語るひきこもり」と題して11月19日（土）午後1時半より戸塚教会にて開催されました。中和田教会からは4名、全体では80名あまりの参加でした。講師でイエズス会修道士沖下昌寛さんが20歳から4年間にわたって経験された「ひきこもり」の経緯を内閣府による「若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）」の資料に添いながらお話されました。

沖下さんの「ひきこもり」は一日中外出せず父親が買ってくる本や雑誌（主に文芸春秋）を読んだり、ラジオを聞く以外は何もなかったそうです。その間の葛藤はあまりお話になりませんでしたが、やがて退屈を感じるようになって「ひきこもり明け」となったとのことでした。

沖下さんは「ひきこもり」が始まった頃、病院にかかり「発達障害」と診断されました。ご自分でも子供の頃から人に対する関心がなく、言葉を理解する能力はあっても、その裏にある感情を理解することができなかった、いわゆる空気が読めなくて、いつの間にか仲間はずれになったり、いじめられたこともあったそうです。

4年の「ひきこもり」の間、両親が苦しみを共有し沖下さんに寄り添うようになってから家庭の環境が良くなったとも話されました。ようやく「ひきこもり」から一歩踏み出し就職も果たした頃、居場所を求めて広島のカテドラルを訪ね、その当時の若い神父様に導かれ、まもなく受洗したそうです。

その後イエズス会の修道士となりますが、あるときモーゼの十戒の「あなたたちはエジプトで奴隷だったのだから」という箇所を「あなたはひきこもっていたのだから」と意識したことを機に改めて自分の体験を話そうと思ったそうです。自分の体験を明文化し「ひきこもり」に対する説明責任を果たすためにも「ひきこもり」の支援活動として「七十二人の集い」を立ち上げられました。「七十二人の集い」ではまず「ひきこもり」の親や本人の居場所になるよう定期的に相談室を設けているとのことでした。「七十二人の集い」の連絡先は以下の通りです。

TEL 03-3929-0847 <http://www.72nin.com/>

（広報 今井）

委員会だより

(文中敬称略)

△11月12日(日) 10名出席▽

■日野神父様のお話

・11月28日～12月7日の間休暇をとりますので、その間は、よろしくお願ひします。

・12月4日は、岡野神父様が黙想会とゆるしの秘跡を行われます。

■各グループからの報告

●建設委員会(岩淵委員長)

・10月29日に第5回建設委員会が開かれて、教区建設委員会からの情報や建設までの流れ、信徒に対するお願ひやアンケートの手紙の検討などを話し合った。近いうちに拡大建設委員会が開かれる予定なので、建設委員会の一部の方は出席されたい。

基本計画をまとめ信徒大会に提案する。基本設計には時間を多くとりたい。

●エプロン会(岩淵(洋))

・バザーは皆様のご協力で、多大な収益をあげることができた。これからも毎月1回は昼食等を計画して、11月20日も軽食の販売を予定している。2月からは、新メンバーで活動する。

●みんなの会(今井)

・10月16日に例会をもち、コーヒーサービスとマリアコーヒーの販売をした。

・11月20日は、建設委員会があるが、10時からコーヒーを提供する。

今後コーヒー一杯100円の収益は建設資金へ寄付する。

●行事(大原)

・クリスマス行事については、委員会の意向に合わせて行うので話し合せてほしい。

●総務(小山(恭))

・12月のスケジュール確認
・11月28日～12月7日は神父様が留守になるので、当番を決める。

・11月27日のミサ後に地区集会を開くので、出席してほしい。

●広報(武田)

・原稿依頼(締切11月23日)

●福祉(阿部)

・10月31日に、第5地区福祉の集まりが開かれた。中和田教会からは、3名出席した。各教会でどんな活動をしているかを話し合った。中和田は、戸塚教会に協力して、ホームレスの方への食事の手伝い、毛布などの物資を送っていることを発表した。他教会では、子ども達への学習支援やイベントなどが発表された。

●宣教(岩崎)

・(要理担当の方が欠席なので) 12月24日のミサ前の行事については後ほど相談をします。

・日野神父様が過去に編纂されたモンテソーリ教育に基づく母親向けの教材が小野さんによって一冊にまとめられましたので、お母さんたちに活用していただきたいと思

います。

・若者を対象にした教区青少年委員会が発行する冊子「ジュネシス」は、今まで無料で配布されていたが、これからは有料になる。

●典礼(小野)

・ロザリオの祈りを実施したが、左右交互に行う等工夫の余地があるので検討する。

・10月30日に「教会の祈り」の勉強会を行ったが、次は復活の主日ミサ前の時間帯に参列者全員で行うことを目標に検討していく。

・中和田教会の七五三祝福は、該当者3名で11月6日に行った。

・3教会と修道院合同ミサは、11月13日に原宿教会で行う予定。中和田から参加する七五三祝福該当者は2名。

・12月4日の主日ミサは岡野神父様の司式で、ミサ後、講話くゆるしの秘跡が行われる。

■その他報告

・月修資料が配布された。

■討議事項

・11月27日に地区集会が開かれるが、依頼事項が資料により説明された。大掃除は12月18日に行う。

・岡野神父様との昼食会は、総務部とエプロン会で検討していただく。

・クリスマス24日は子ども達へのおみやげを用意し、25日は茶話会を開く。以上

(次回委員会12月11日)

泉区民クリスマス
2016. 12. 22(木)
14:30~16:30(開場 14:00)
会場 / 泉公会堂(裏面参照) 入場無料

区民の皆様へ素敵なクリスマスをお届けします

当日のプログラム

クリスマスメッセージ
クリスマスキャロル
幼稚園児によるページェント(降誕劇)
連合聖歌隊合唱
保育園児による歌・踊り
★ゲスト★
横浜華人中学高等学校 和太鼓部
などを予定しております

案内地図

至泉谷 至泉後 至泉前 至泉南台
至泉川 至泉北
至泉東水池 至泉西水池
至泉南台 至泉北台
至泉東水池 至泉西水池
至泉南台 至泉北台
至泉東水池 至泉西水池
至泉南台 至泉北台

至泉谷 至泉後 至泉前 至泉南台
至泉川 至泉北
至泉東水池 至泉西水池
至泉南台 至泉北台
至泉東水池 至泉西水池
至泉南台 至泉北台

至泉谷 至泉後 至泉前 至泉南台
至泉川 至泉北
至泉東水池 至泉西水池
至泉南台 至泉北台
至泉東水池 至泉西水池
至泉南台 至泉北台